

令和元年度 琴浦町事業レビュー

1. 日 時

【1日目】 令和元年10月12日（土） 9：00～（受付8：30～）

【2日目】 **令和元年11月10日（日）** 9：00～（受付8：30～）

2. 会 場

生涯学習センター（まなびタウンとうはく） 4階 多目的ホール

※ **2日目 琴浦町保健センター（琴浦町本庁舎北側）**

3. 日 程 （進捗状況により、時間帯が前後する場合があります。）

【1日目】 10月12日（土）		【2日目】 11月10日（日）	
9:00～ 9:30	開会、概要説明など	9:00～ 9:30	開会、概要説明など
9:40～10:50	①地区公民館事業	9:40～10:50	⑤社会福祉協議会補助金
11:00～12:00	②斎場管理	11:00～12:00	⑥シルバー人材センター運営費補助金
12:00～13:00	(昼休憩)	12:00～13:00	(昼休憩)
13:00～14:00	③地域おこし協力隊活動事業	13:00～14:00	⑦商工会補助金
14:10～16:20	④交通費助成制度※	14:10～15:10	⑧観光情報発信業務
		15:20～16:20	⑨白鳳祭
16:25～17:00	講評、閉会	16:25～17:00	講評、閉会

※ 交通費助成制度の進め方

(1)公共交通及び交通費助成制度全体の説明 【15分】

(2)交通空白地タクシー助成、高齢者支援制度の説明・議論① 【35分】

対象：●交通空白地タクシー助成、●外出支援タクシー利用助成

(3)休憩【10分】

(4)障がい者支援制度の説明、議論② 【40分】

対象：●腎臓機能障がい者交通費助成、●重度障がい者タクシー料金助成、
●作業所等通所障がい者交通費助成

(5)全体を通じた議論③ 【10分】

(6)評価シートの記入・回収【20分】

4. コーディネーター、審議員

(1) コーディネーター

山根 晃 氏 (足立区勤労福祉サービスセンター特命担当部長)

(2) 審議員 (外部有識者)

【1日目】

福嶋 浩彦 氏 (元消費者庁長官、元我孫子市長)

野津 伸治 氏 (鳥取短期大学教授)

永久 寿夫 氏 (株式会社 PHP 研究所 取締役専務執行役員)

吉岡 古都 氏 (薬剤師)

【2日目】

福嶋 浩彦 氏 (元消費者庁長官、元我孫子市長)

野津 伸治 氏 (鳥取短期大学教授)

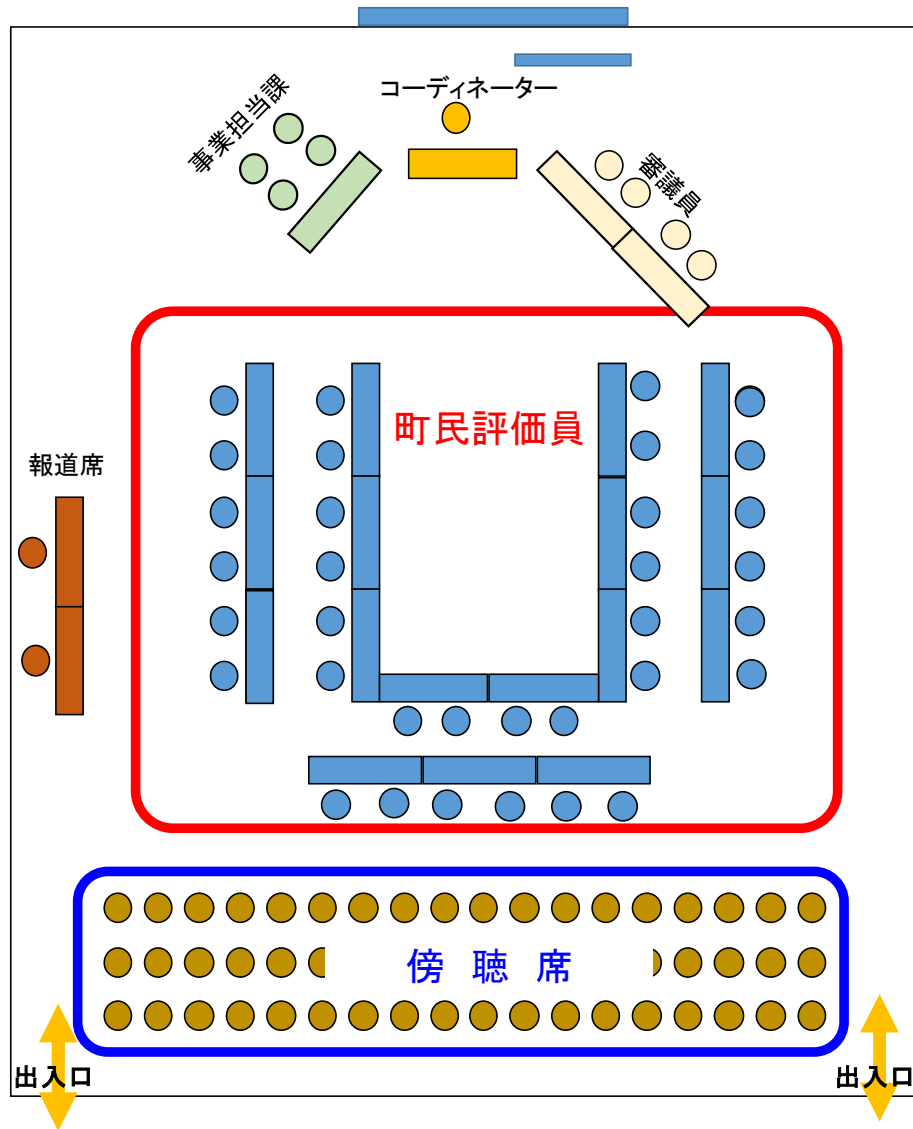
伊藤 伸 氏 (構想日本 総括ディレクター)

吉武 智子 氏 (宇部市 健康福祉部地域福祉・指導監査課 課長)

～ 注意事項 ～

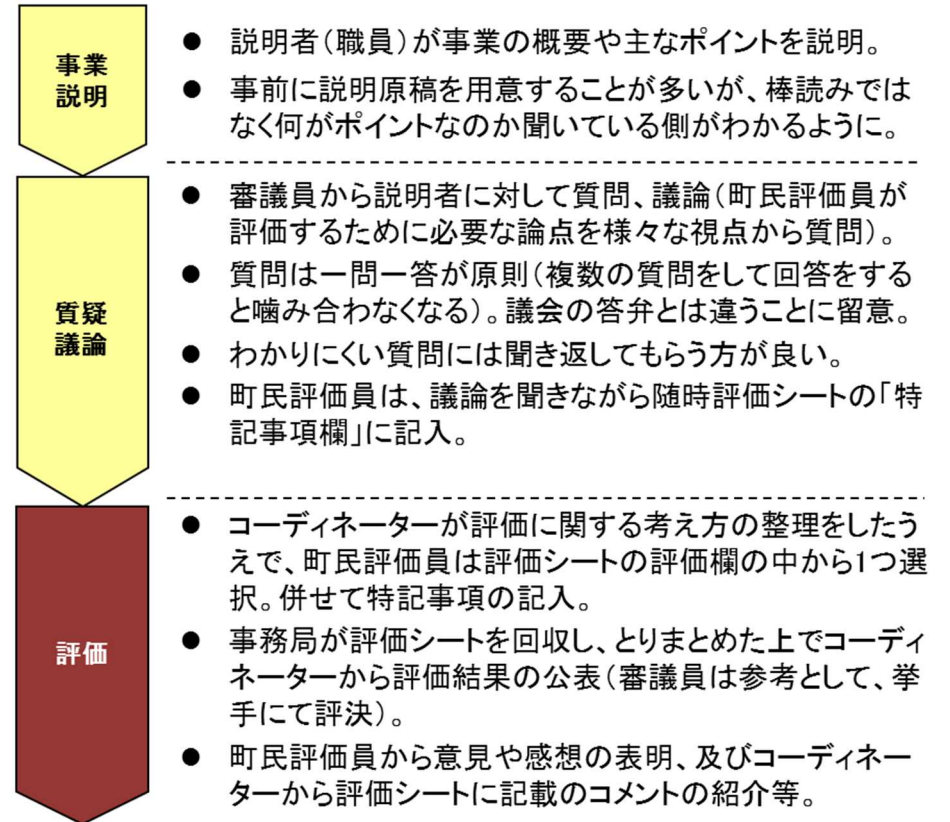
- 1 会場内での携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- 2 施設内は禁煙となっておりますので、指定された場所以外での喫煙はご遠慮ください。
- 3 本日の会場内の状況は、町報、報道機関各種報道媒体を通じて公開される場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 4 傍聴者からの質問は受け付けませんのでご了承ください。
- 5 事業レビュー終了後、今後の業務運営の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いします。アンケートは、お帰りの際、受付の投函箱へ投入してください。

5. 会場レイアウト

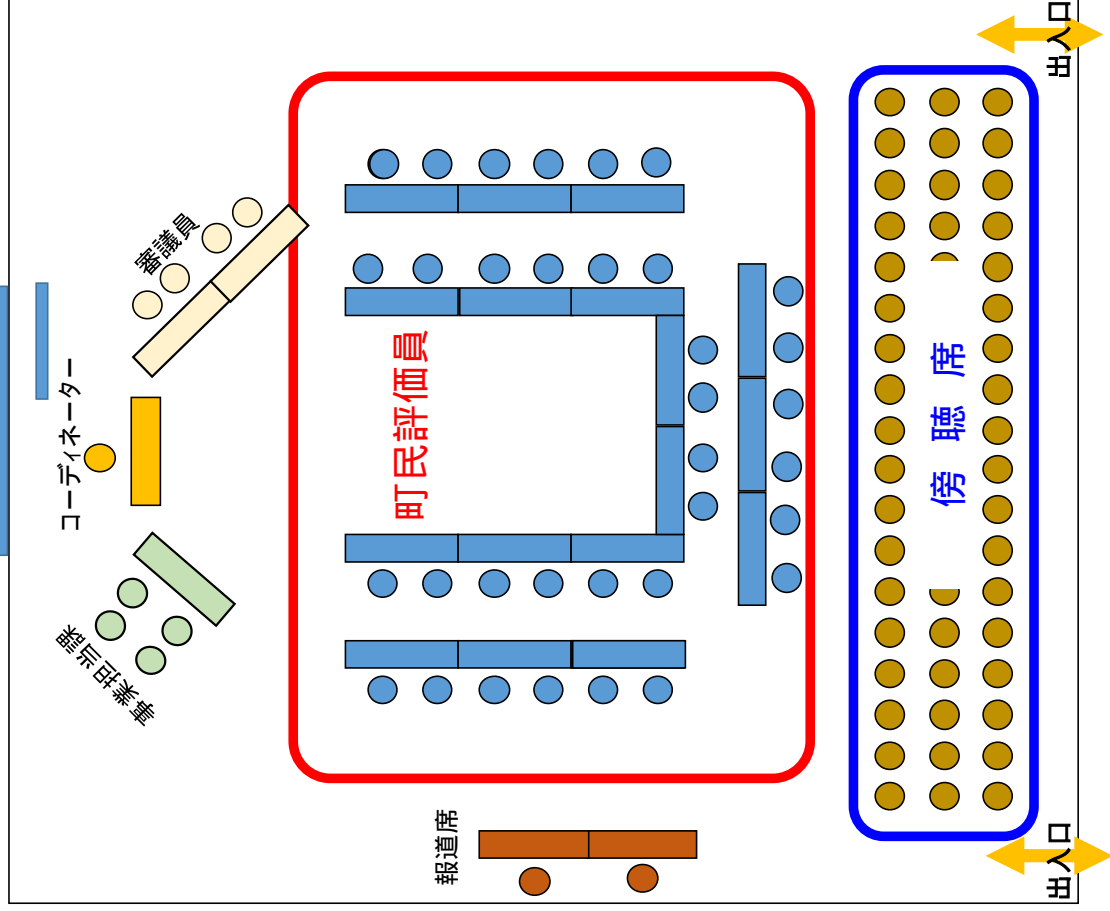


6. 事業施設レビューの流れ

議論の流れ



5. 会場レイアウト



6. 事業施設レビューの流れ

議論の流れ



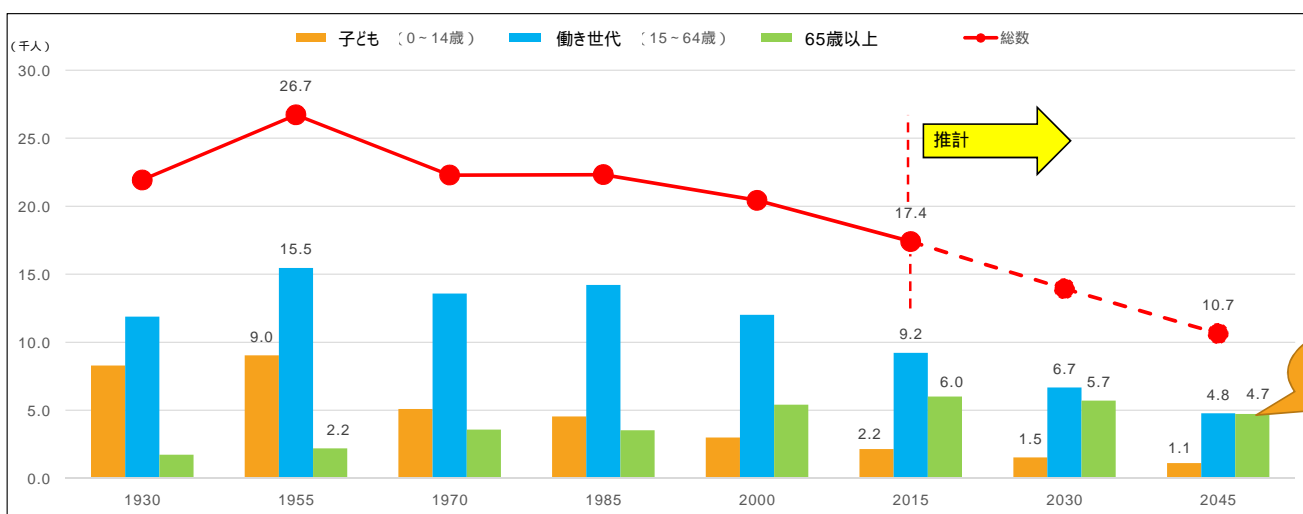
- 説明者(職員)が事業の概要や主なポイントを説明。
 - 事前に説明原稿を用意することが多いが、棒読みではなく何がポイントなのか聞いている側がわかるように。
-
- 審議員から説明者に対して質問、議論(町民評価員が評価するために必要な論点を様々な視点から質問)。
 - 質問は一問一答が原則(複数の質問をして回答をするとは噛み合わない)。議会の答弁とは違うことに留意。
 - わかりにくい質問には聞き返してもらう方がよい。
 - 町民評価員は、議論を聞きながら随時評価シートの「特記事項欄」に記入。
-
- コーディネーターが評価に関する考え方の整理をしながら、町民評価員は評価シートの評価欄の中から1つ選択。併せて特記事項の記入。
 - 事務局が評価シートを回収し、とりまとめた上でコーディネーターから評価結果の公表(審議員は参考として、挙手にて評決)。
 - 町民評価員から意見や感想の表明、及びコーディネーターから評価シートに記載のコメントの紹介等。

令和元年度 琴浦町事業レビュー

【1日目】 令和元年 10月12日(土)
 【2日目】 令和元年 10月13日(日)
 琴浦町

これからのまち人口は？

これからも人口は減少し、少子高齢化がさらに進みます



「生産年齢人口」と「老年人口」の割合が一緒になる

出典：国立社会保障・人口問題研究所（2018年推計）

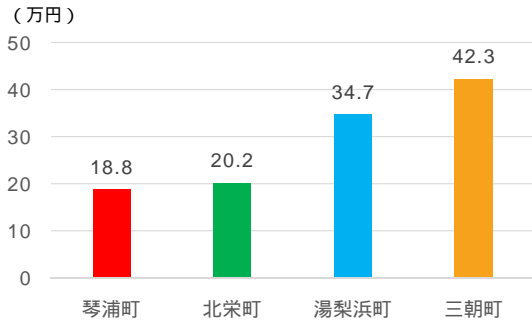
- 総人口は減少してきました。
- 「子ども」、「働き世代」の人口は減少し、今後も、減少する見込みです。
- 「65歳以上」の人口は増加してきました。
- 2045年には、「働き世代」と「65歳以上」の人口がほぼ同じになります。



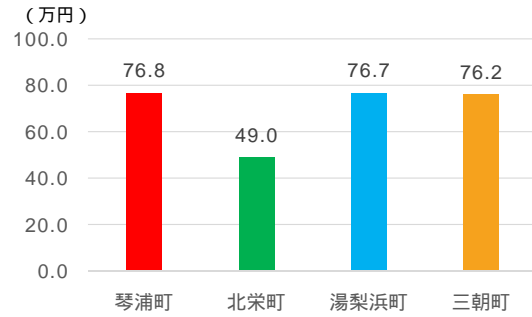
- 民間企業・役場の職員等の働き手不足
- 税収・地方交付税の減少
- 医療費にかかる支出割合の増加 など

現在のまちの財政状況は？

町民一人あたり「貯金」



町民一人あたりの「借金」



平成30年度決算速報値より

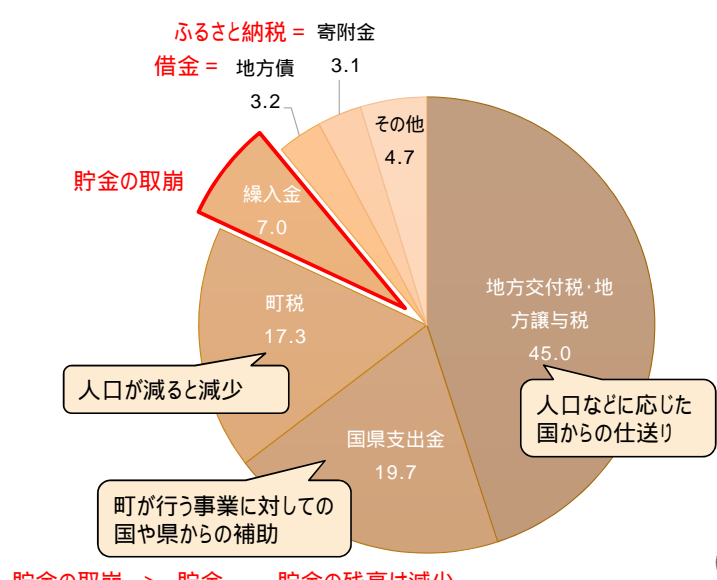
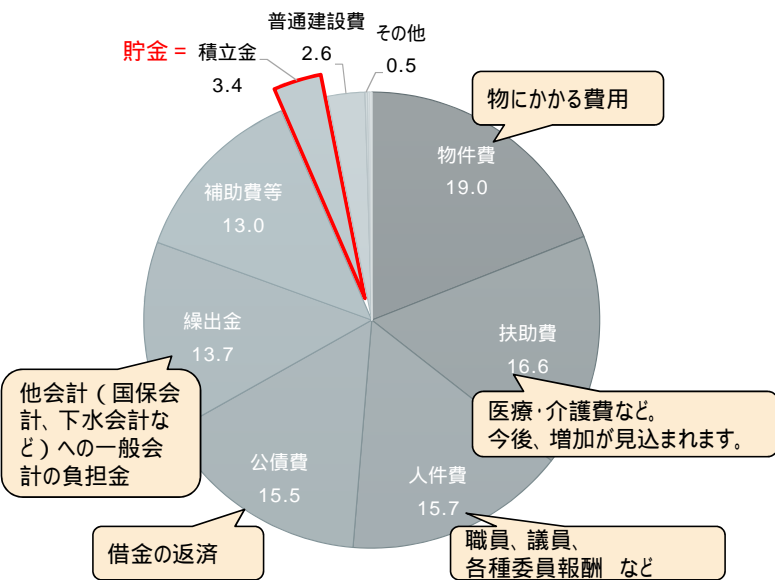
琴浦町の2019年一般会計当初予算 一般会計予算総額：99億500万円

【単位：％】

2019年度予算は、災害復旧を優先するため、普通建設事業費を抑制

歳出

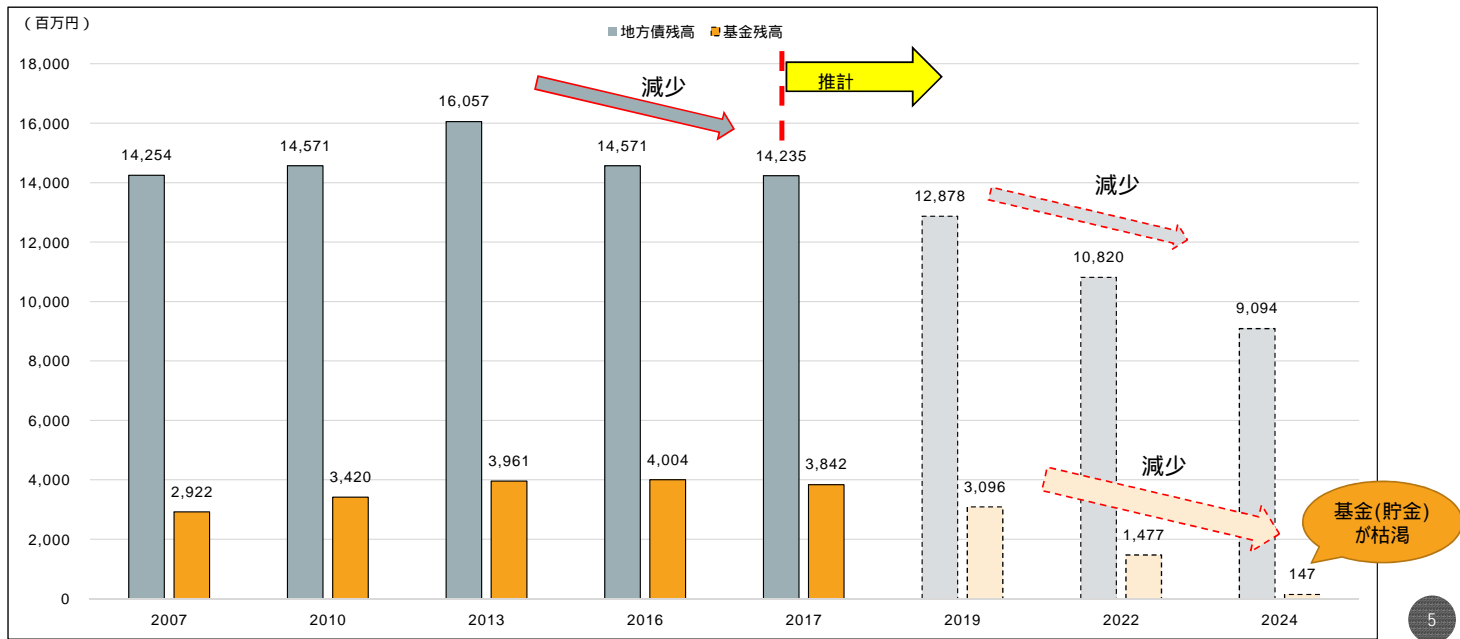
歳入



貯金の取崩 > 貯金 貯金の残高は減少

2019年度当初予算をベースにした今後の財政推計

このまま何も手立てを行わなければ、
2019年度当初予算をベースに推計を行うと2024年には基金が枯渇し、翌年度以降の予算編成に支障を来す恐れがある。



これからまちが取り組むべきことは？

まちは、持続可能な質の高い住民サービスを行うため、「**行財政改革プラン**」を策定し、実行していきます。

➤ 行財政改革プランの基本方針（案）

□ **情報共有の徹底（町民との情報共有）**

- **税金の用途をわかりやすく説明**し、知っていただくとともに、**町民のニーズ・意見（評価）**をいただき、反映させます。

□ **財政構造改革**

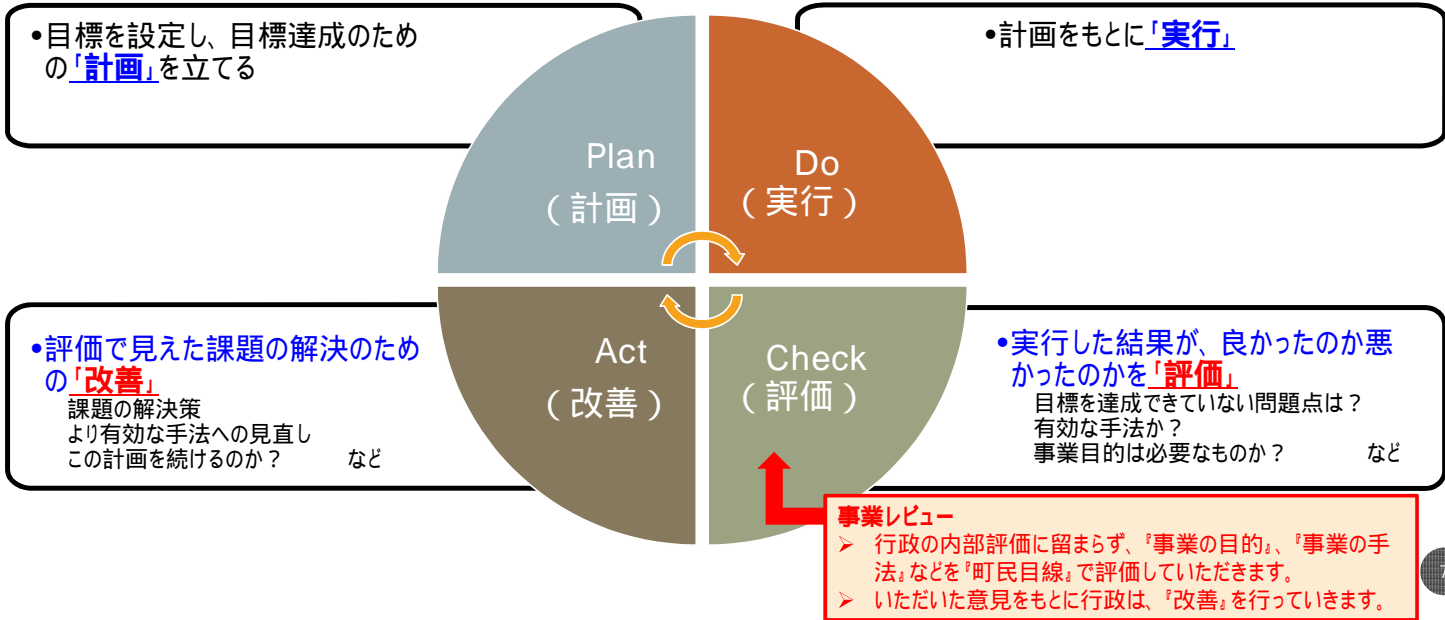
- これまでの住民サービスの手法や体制を見直し、**効率的・効果的な手法**などへ見直します。

□ **行政体制改革**

- 民間との連携強化、ICTなどの最新技術の活用などにより、**少ない職員でも効率的に事務を行う体制**をつくります。

事業を良くしていくために必要な「評価（レビュー）」

「しごと」において、「P D C A サイクル」が重要と言われており、まちの行う事業でも、この考え方が大切です。「評価」と「改善」を行わなければ、目標は達成できなかったり、達成が遅れます。



令和元年度 対象事業及び選考理由 【1日目】

No	事業名	行財政改革推進委員会による選考の視点
1	地区公民館事業	使用料収入が少なく、町の負担額が大きい 人口が減少する中、地域での役員の負担が大きくなっている 地区公民館、地域振興協議会（地域運営組織）のそれぞれのあり方（統合など） 地域運営組織は、各地域の問題かもしれないが納税者である町民がレビューで議論することは重要
2	斎場管理	使用料の見直しについて議論が必要 琴浦町のみで管理・運営していくのか、又は中部広域での共同運営に参加するのかを議論する必要がある
3	地域おこし協力隊活動事業	国の制度であるが、琴浦町にとっての成果や効果の検証が必要
4	交通費助成制度	個々に制度が設けられているが、1つの枠組みで整理が必要 支援全体の考え方などの整理が必要

令和元年度 対象事業及び選考理由 【 2 日目 】

No	事業名	行財政改革推進委員会による選考の視点
5	社会福祉協議会運営費補助金	税金で運営を支援する理由（必要性）、効果の検証が必要 補助対象は、民間が行っていない事業に限定すべき 社会福祉協議会の苦労等を町民に知ってもらう意味で選考
6	シルバー人材センター運営補助金	運営費を補助している観点から、収入の確保対策としてシルバー人材センターの会員数確保に向けた取組の検証
7	琴浦町商工会補助金	商工会補助金の成果、効果の検証が必要
8	観光情報発信業務	委託内容である観光情報発信は、観光協会の本来の事業ではないか
9	白鳳祭	今年度は、町主体から民間主体に運営が変わったが、町民の大多数がその苦労を知らないで、それを知るきっかけとして選定 町長が町長（実行委員長）へ補助金を出していることに疑義（昨年度まで）

税金で運営費補助（人件費補助）を行う事業は、対象経費が異なる数団体を選定